

(2) 金沢大学埋蔵文化財調査センター講演会・研究会記録

共催団体：古代学協会北陸支部、金沢大学文学部考古学研究室

対 象 ：研究者、学生、及び一般

2005年(平成17年)

5月31日 講演会

ニコル・クーリッジ・ルマニエール (英セインズベリー日本美術文化研究所・所長)

「イギリス・ビクトリア朝における日本陶磁器の収集：Franksと蜷川そして大英博物館」

6月11日 金沢大学考古学大会・平成17年度

増山 仁 (金沢市ふるさと偉人館) 「金沢城下町の武士と町人」

小松隆史 (井戸尻考古館) 「中部高地の縄文前期集落の展開」

山下平重 (香川県教育委員会) 「香川県における埋蔵文化財保護行政について」

野上建紀 (有田町歴史民俗資料館) 「17世紀後半のアジアの陶磁器交易について」

6月15日 講演会

山崎 剛 (金沢美術工芸大学) 「九谷研究における美術史的興味」

6月17日 講演会

瀬戸哲也 (沖縄県立埋蔵文化財センター)

「沖縄県出土の中国青磁・白磁の研究状況—14～16世紀を中心に—」

7月2日 シンポジウム 文化遺産の保存整備と活用

文化遺産・九谷窯跡の保存と環境 —地域が求める伝統産業の整備活用、そして未来へ—

佐々木達夫 (金沢大学) 「文化財の史跡整備と活用」

垣内光次郎 (石川県埋蔵文化財センター) 「石川県の史跡整備と九谷」

田嶋正和 (加賀市窯跡展示館) 「国指定史跡・山代再興九谷窯跡の整備と公開」

樫田 誠 (小松市教育委員会) 「八幡登窯と小松市錦窯展示館の整備と公開」

平田天秋 (珠洲焼資料館) 「能登半島の再興九谷窯跡の現状と保存」

元谷信也 (山中町教育委員会) 「国指定史跡・九谷磁器窯跡整備の現状」

山本長左 (加賀九谷陶磁器協同組合) 「伝統産業九谷焼の活性化」

大幸 甚 (加賀市長) 「地域文化の保護・環境整備・活用」

徳田八十吉 (陶芸家・人間国宝) 「伝統を生かした九谷焼の未来への継承」

7月27日 研究会

庄田知充 (金沢市埋蔵文化財センター) 「九谷焼資料カード」

佐々木達夫 (金沢大学) 「九谷焼研究テーマの検討」

9月10日 研究会

庄田知充 (金沢市埋蔵文化財センター) 「金沢市昭和町遺跡の九谷焼」

9月29日 講演会

望月幹夫 (東京国立博物館) 「パキスタンの仏教遺跡ジャルデリー遺跡の調査」

10月8、9日 第12回ヘレニズム～イスラーム考古学研究会

宮下佐江子（古代オリエント博物館）「イラク、アル・タール遺跡出土の人物文綴れ織りについて」

足立拓朗（中近東文化センター）「金製エロス形耳飾にみるヘレニズム時代の地域性」

稲垣 肇（MIHO Museum）「タジキスタンのヘレニズム時代タフティサンギン遺跡の発掘」

芳賀 満（京都造形芸術大学）「スキュラの図像について」

春田晴郎（東海大学）「オスロエネ王国の文化」

芳賀京子（国立西洋美術館）

「ソンマ・ヴェスヴィアーナ、ローマ時代の別荘出土の2体の大理石彫刻」

横張和子「サミット（複様3枚綾緯錦）の成立とその展開」

辻村純代（国士舘大学）「古代エジプトの騎馬土偶」

田辺勝美（中央大学）

「最古の仏陀像はゼウス神かヘーラクレスかーティリヤ・テペ出土金貨の図像と銘文の再検討ー」

宮坂 朋（弘前大学）、泉 拓良（京都大学）「トフェトの考古学ーフェニキア考古学への予察ー」

辻 成史（大手前大学）「死者の島、聖者の島、そして恋人達の島ー序論ー」

小谷仲男（富山大学）「中国居留ソグド人の葬礼美術」

石渡美江「大同市南郊出土八曲長杯について」

ヤマンラール水野美奈子（龍谷大学）

「馬具に見る東西交流の痕跡：内蒙古自治区陳国公主墓出土の障泥とサライ・アルバムの障泥図案に関する考察」

岡田保良（国士舘大学）「ガダラのドーミカル・ヴォールト」

山下王世（東京外国語大学）

「六角形をベースにしたオスマン朝のドーム：東京モスクの原型に関する考察」

深見奈緒子（東京大学）「コーランに見る自然環境と建築」

佐々木花江、佐々木達夫（金沢大学）

「アルバニア・マケドニアのヘレニズム～ビザンツ時代遺跡と出土品」

2006年3月16日 見学会

吉田屋展（九谷焼窯跡展示館・石川県九谷焼美術館）